

事前評価（事業費 10 億円未満）調書

事業名	一般府道 桜井停車場線 踏切改良	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	箕面市桜井2丁目	
目的	本箇所は、阪急桜井駅に隣接しており、歩行者、自転車の多い箇所であるが踏切部の歩道が未整備であり、特に朝夕は通勤・通学の歩行者や自転車が車両と交錯し大変危険な状況であるため、踏切を拡幅し歩道を整備することにより、歩行者等の安全と交通の利便性の向上を図ることを目的とする事業である。	
内容	○歩行空間整備 事業延長 L = 20m (現況) 歩道なし (計画) 片側歩道 W = 2.0m	
事業費	全体事業費：約 3.0億円 (内訳) 工事費等 約 3.0億円	
	【事業費の積算根拠】 近年の事業実績による	【工事費の内訳】 踏切拡幅等 約 3.0億円
事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】 ・鉄道管理者と事前協議中 【今後の事業費変動要因の予測】 特になし	
維持管理費	3.0百万円/年・km (国土交通省 費用便益マニュアル)	
関連事業	特になし	
上位計画等における位置付け	○「大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版(H17.3)」 ○「大阪府歩道整備計画(案)H14.12」	
事業を巡る社会経済情勢等	○当該道路状況 当該事業箇所は、阪急桜井駅に隣接しており、歩行者、自転車の多い箇所であるが、踏切部の歩道が未整備であり特に朝夕は通勤・通学の歩行者や自転車が車両と交錯し大変危険な状況である。 ○交通センサスデータ(平成17年) 自動車交通量 : 11,916 台/12h 自転車交通量 : 2,119 台/日 歩行者交通量 : 4,058 人/日 ○交通事故発生状況 H16~H20(5ヶ年間) : 0 件 (うち死亡事故 : 0 件)	

地元の協力体制等	地元市等から早期整備要望がなされている。
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	交通安全事業における費用便益分析手法は確立できていない。
定性的分析	<安全・安心> ○歩車分離を図ることにより、歩行者・自転車等の安全を確保する。 ○通学路であり、児童の安全確保に寄与する。 ○箕面市交通バリアフリー基本構想に位置づけあり。 <活力> ○誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成(バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上) <快適性> ○交通利便性の向上
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成23~24年度：協議・設計 平成25~26年度：工事
完成予定年度	平成26年度
代替手法との比較検討	○踏切内において歩行者等の安全確保及びバリアフリー法の基準を満足するためには、通行車両と歩行者等を分離できる歩道の整備を行うことが最善策であり代替案はない。
自然環境等への影響とその対策	○周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響をあたえることはない。
その他特記事項	特になし

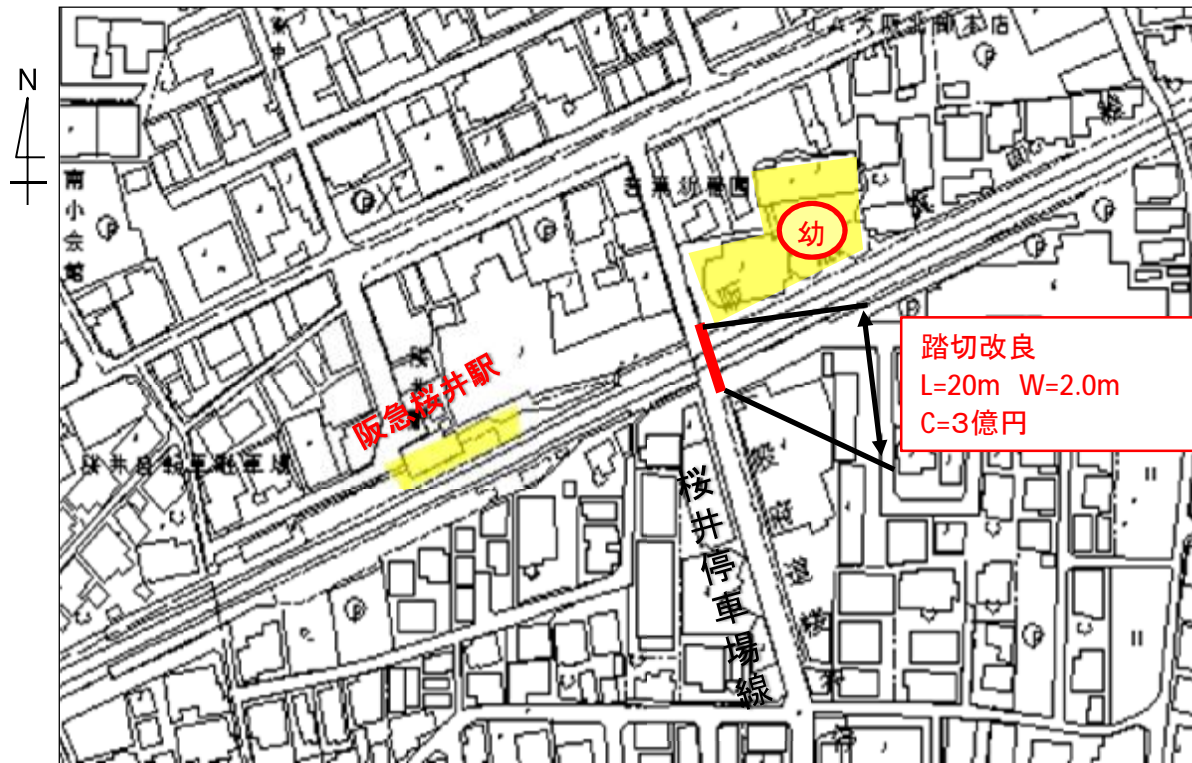
対応方針	・事業実施は妥当 <判断の理由> 本箇所は、阪急桜井駅に隣接しており、歩行者、自転車の多い箇所であるが、踏切部の歩道が未整備のため、特に朝夕は通勤・通学の歩行者や自転車が車両と交錯し大変危険な状況であるため、踏切を拡幅し歩道を整備することにより、誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間が確保されることから優先的に整備すべき箇所と判断した。
------	---

一般府道 桜井停車場線(踏切改良)事業概要図

事業箇所図



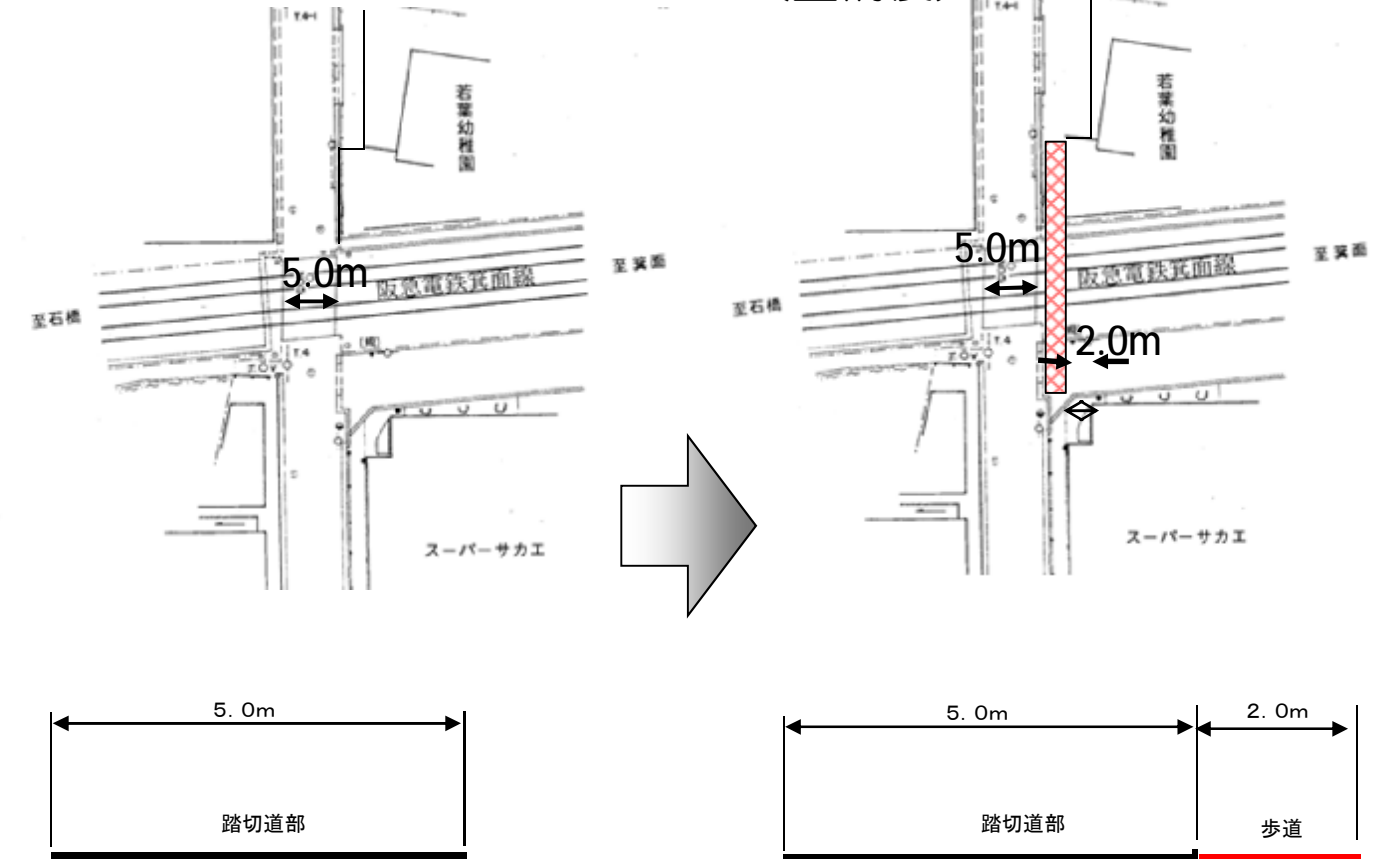
平面図



交差点詳細図

(整備前)

(整備後)



現況写真

